

2021/12/31-2

(うときゅういっきの「うつ病ドロンパ」元々は、誰が主(あるじ)なの? 2)

ではどのように整理すればいいのか?

そこでポイントになるのが「自分の都合」という視点です。

どのような場合でも時空移動した先のステークホルダーはステークホルダーの都合で攻めてきます。

それに対してこちら側が同じく自分の都合で戦っているのは泥仕合になるのは必定です。

そうして折衝与奪の兼は相手の側にあるので、到底勝ち目はありません。

ならばどうするか?

簡単に言えば「自分の都合」を捨ててしまう事です。

「自分の都合」がなければ、相手が相手の都合で攻めてきても、土俵が全く違うので痛くも痒くもなくなります。失うべき「自分の都合」が存在しないからです。

都合というのは別な言い方をすれば「自分最優先」です。

つまり「自分の事は最優先して戴かなくて結構」という態度に出る事です。

「自分は最優先されるような代物ではないので、それで結構です。どうぞ自由に」とある意味開き直す事です。

角度を変えて申し上げますと、

「自分にかかずらわっているところな事がない」

という事です。

自分にかかずらわるというのは「自分の都合」にかかずらわるという事でもあります。

「都合」とは書いて字の如く「都(みやこ)に合わせる」事です。自分を「都(みやこ)」と見立てている訳です。

ですので、そんな「私を世の中の中心である都に制定し、都である自分の発布にすべて従え、という強要」など誰も顧みてくれるものではないので、上手くいかなくて当たり前です。

何故なら相手にも相手の都合があるので、それどころではないからです。

平たく言えば

自分最優先の先陣争い、即ち「権力闘争」です。

しかも相手に権力があるにもかかわらず「持てる権力を無条件で引き渡し無血開城せよ」といっているようなものなので「無い物ねだり」をしているのも同然です。

となれば、

「自分最優先の都合をいったんわきに置き、何が抑圧しているのか?あるいはどんな思い込み、思い違い、誤認識が抑圧を生み出しているのかを、誰の都合でもない物事の自律的メカニズムに照らして、虚心坦懐に見つける事」

が肝要です。

それが「整理」です。

自分を中心においてメカニズムを自分に都合よくいじくるのではなく、物事の自律的なメ

カニズムの働きを見出して、その中で自分がどこに位置しているのかを見出し、それに従う事。

それが整理です。

(続く)